

重喫煙者を対象とした低線量 CT 肺がん検診の受容可能性調査 ー市民を対象としたインターネット調査ー

1. 研究概要（目的・実施期間等）

近年重喫煙者を対象とした「低線量 CT による肺がん検診（LDCT 検診）」が注目されており、すでに米国や韓国、英国の一部等で実施されています。低線量 CT 検査は従来の胸部単純 X 線検査よりも検出力が高まりますが、偽陽性や偽陰性、過剰診断、放射線被ばくなどの不利益も増えます。そこで、肺がんのリスクが非常に高い重喫煙者には低線量 CT 検査、軽喫煙者と非喫煙者には胸部単純 X 線検査を提供する検診プログラムが国内で検討されています。このように個人のがんのかかりやすさに応じて検査方法や検診間隔を調整する検診プログラムを「リスク層別化検診」と呼びます。

日本ではこれまでリスク層別化検診に関する議論が全く行われていませんでした。LDCT 検診では重喫煙者のみが検査対象となるため、LDCT 検査対象外となる非喫煙者と軽喫煙者の理解が得られるか、重喫煙者が実際に LDCT 検査を受診するかが懸念されます。

そこで、本研究では日本の一般市民を対象に、喫煙経験によるリスク層別化肺がん検診の受容可能性について WEB アンケート調査を実施し、様々な基本属性や肺がん検診に対する理解と LDCT 検診受容可能性との関連を調べ、リスク層別化検診導入のための基礎的資料を作成します。

本研究ではインターネット調査会社のパネル登録者である一般市民を対象としてインターネット調査を用います。最初に喫煙状況による割付を行うために予備調査を実施します。その後、本調査として LDCT 検診に関する情報提供動画を視聴していただき、アンケート調査を実施します。研究全体の実施期間は、研究許可日から 2024 年 12 月 31 日までを予定しています。

2. 研究の対象

検診受診対象年齢層にあたる「50 歳～74 歳以下の男女」を対象としました。

予備調査の段階で喫煙状況調査を行い、アンケート回答者を以下の 3 群に割り付けます。

（1）Heavy smoker: 現在喫煙者または禁煙して 15 年未満、かつ喫煙指数（「一日あたりの平均喫煙本数」と「喫煙した年数」を掛け合わせて算出）が 600 以上。LDCT 検診対象者。

（2）Light smoker: ①現在喫煙者または禁煙して 15 年未満、かつ喫煙指数が 600 未満、②喫煙指数にかかわらず、禁煙して 15 年以上。喫煙者であるが、LDCT 検診の対象にならない。

（3）Non-smoker: たばこを吸ったことがない。LDCT 検診の対象にならない。

本調査では、上記の 3 群からそれぞれ 330 人ずつ回答を集める予定です。

3. 研究に用いる情報の種類

上記の方法で取得したアンケート回答内容を利用します。具体的な項目内容は以下の通りです。

予備調査項目：

研究参加同意項目、喫煙習慣の有無、喫煙本数と年数・やめた時期（喫煙経験者のみ）

本調査項目：

禁煙治療経験、受動喫煙経験、肺がんに関する一般的知識（肺がんの主な原因、現在の肺がん検診について等）、低線量 CT の動画理解度、LDCT 検診の受容可能性（受けたいと思うか、その理由等）、基本属性（学歴、健康保険加入状況、肺がん罹患歴等）

4. 問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので、下記連絡先までお申出下さい。

また、情報が本研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、委託会社の窓口を通じてお申出ください。その場合でも回答者に不利益が生じることはありません。

ただし、研究の進捗状況やデータの特性により、データを取り除くことができない場合があります。

研究に関する照会先・連絡先（研究事務局）：

国立がん研究センター がん対策研究所 検診研究部

担当者：宮澤 仁、細野 覚代

研究責任者：中山 富雄

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話番号：03-3547-5201（内線 3368）

インターネット調査業務委託先：

株式会社マクロミル

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー 11F

マクロミルモニタサポート窓口

<https://monitor.macromill.com/airs/exec/inquiryInputAction.do>